

臨床研究に関する公開情報

2024年2月29日

疫学研究とは、病気にかかることの頻度や病気の多さを調べて、その原因を明らかにする研究です。私たちは過去のカルテより得られた情報を利用して、現在まで行われた病気の診断・治療の評価を行い、より良い診断・治療法を確立し患者さんに還元できるように、下記の疫学研究を行っています。

下記の疫学研究は、京都民医連あすかい病院倫理委員会の承認を得た後、研究責任者の管轄のもとに行われます。当院にすでに記録されている臨床情報をもとに行われるため、対象となる患者さんに新たにご負担をおかけすることはありません。

また、この研究の結果は専門の学会や学術雑誌に発表されることがありますが、対象者のプライバシーは十分に尊重され、個人に関する情報(氏名など)が外部に公表されることは一切ありません。

もし、下記の疫学研究にご自身の臨床情報を使用されることに同意されない方は、下記連絡先にご連絡くだされば、解析対象から除外させていただきます。同意されない場合でも、診療上であなたが不利益を被ることは一切ありません。また下記研究に関して、ご不明な点がございましたら、いつでも下記連絡先にお問い合わせください。

<概要>

研究課題名：「回復期リハビリテーション病棟における重症度引き上げによる
アウトカムの変化の検証」

対象：研究期間：2020年4月～2024年3月までに、京都民医連あすかい病院北2階に入院された方を対象とします。

研究目的：2022年の回復期リハビリテーション病棟Ⅰの基準引き上げにより入院患者の重症度割合が引き上げられた。これにより、入院患者全体の40%が重症患者となり、入院期間の長期化や自宅復帰率の低下が懸念されます。本研究の目的はその影響を調査し、医師・看護師のマンパワーが適切であるか、医療的ケア・管理、リハビリテーションへの負荷増大が生じていないかを明らかにすること。

方法：診療記録より臨床情報を収集します。収集する臨床情報には、年齢・性別、入院時の原因疾患、重症度（日常生活自立度）等があります。研究結果は学会及び論文にて公表します。

個人情報：臨床情報は誰の情報か分からないように加工され、個人が特定できないようにして、必要な臨床データのみを収集して解析を行います。そのため、本研究に協力していただく患者さんに不利益が生じることはないと考えています。しかし、そうであっても臨床情報を本研究のために使用されたくない方は、ご連絡いただければ解析対象から除外します。

問い合わせ先：京都民医連あすかい病院
入院リハビリテーション課（リハビリテーション部）
〒606-8226
京都市左京区田中飛鳥井町 89
TEL：075-712-9091
研究責任者 林 知輝